



社会を生き抜く力の育成

学校教育目標

社会や人との関わりの中で
真の逞しさを身につけた児童生徒の育成

学校経営方針

- ①児童生徒に求める資質能力の指針をさらに明確にし、その一層の伸長と発展を図る
- ②ユニバーサルデザインを基本に、支援の必要な生徒に寄り添い、向き合うことで理解を深める
- ③施設併用型5、4制義務教育学校、及びコミュニティスクールの強みを生かし、その意義を見出す

目指す学校像(校歌の歌詞を実現)

- ①地域を誇れる学校「大いなる歴史を学ぶ／はるかなる未来を思う」
- ②児童生徒が誇れる学校「希望を胸に灯して 美しい夢を いま創りゆく」
- ③わが子を通わせたいと思う学校「ここに集う仲間たち ともに学ぼう」

目指す教職員像

- ①カリキュラムマネジメントを理解し、チーム(組織)の一員として協働できる教職員
- ②一人ひとりの児童生徒を慈しみ、学ぶ喜びと向上心を与えられる教職員
- ③絶えず研鑽しながら、自身のライフワークバランスを考え、自己変革できる教職員

子どもにつけたい資質・能力

資質:自らの生き方を考えながら、夢や目標に向かって粘り強く取り組むことができる

能力:学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力

●学力検証・授業改善

- ジョイントプログラム、学習確認プログラムの結果を分析し、学校全体の学力傾向を把握
- 課題に対する改善の有無と要員を検証
- 結果を基に研修を行い、授業改善の方向性を明確化
- 学習状況を次年度へ引継ぎ、継続的な改善を

●算数→数学の教科 養育課程特例制度の活用

- 西学舎において、チャレンジタイムを算数の復習に
- 6年算数に15H加え、復習に

向学

資質:各教科で身につけた知識及び技能を、日常の様々な場面において応用できる

能力:実際の社会で生きて働く知識及び技能

●探究型学習の研究

- 課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現
- めあて・まとめ・ふりかえり

●主体的・対話的な深い学びの実践

- 学びのスタンダード活用による規範意識の醸成
- 学校評価アンケート分析による授業改善

●生活科・総合的な学習の時間

- 生活科と総合的な学習の時間を接続
- 系統立てた学習の実現
(地域→京都→日本→自分)

才知

資質:課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、自らの考えを表現できる

能力:未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力

●自己有用感の向上

- 学校評価アンケートにて、自己有用感の達成度を経年変化で分析
- 幼保小連携を通じて、児童の学びの基盤を促進
- 東西学舎それぞれの実態や課題に応じた分析と取組実践

●「くらまね」による学級経営分析

- くらまねについての理解を深め、生徒指導委員会等で情報を共有しながら、共通理解および分析を進める

立志

京都市立東山泉小中学校



5・4制 施設併用型義務教育学校

1stステージ 西学舎 目指す子ども像

あたたかく思いやりのある児童・ねばり強くあきらめない児童

5年生への工夫 ・担任以外の学年主任 ・教科担任制 ・西学舎のリーダー	5年	発展期 基礎基盤の徹底	ゆめづくり	マイワーク 今と未来をつなぐ
	4年		ゆめづくり	私たちのくらしとエコ
	3年		ゆめづくり	大好き!わたしたちのまち
2~4年生への工夫 ・段階教科担任制	2年	定着期 学びの 基盤構築	生活科	まち探検
	1年		生活科	学校のまわりを知ろう

2ndステージ 東学舎 目指す子ども像

人を慮りながら理想の実現を追求し続ける児童生徒

6年生への工夫 ・中学校籍学年主任 ・中学校籍教員の乗入れ授業 ・教科担任制 ・後期課程部活動への参加	9年	飛躍期 自己実現 に向けた 進路決定	夢創	自分の未来
	8年		夢創	日本の未来を考える
	7年		夢創	提言 わがまち京都の未来
	6年		夢創	共に生きるまち